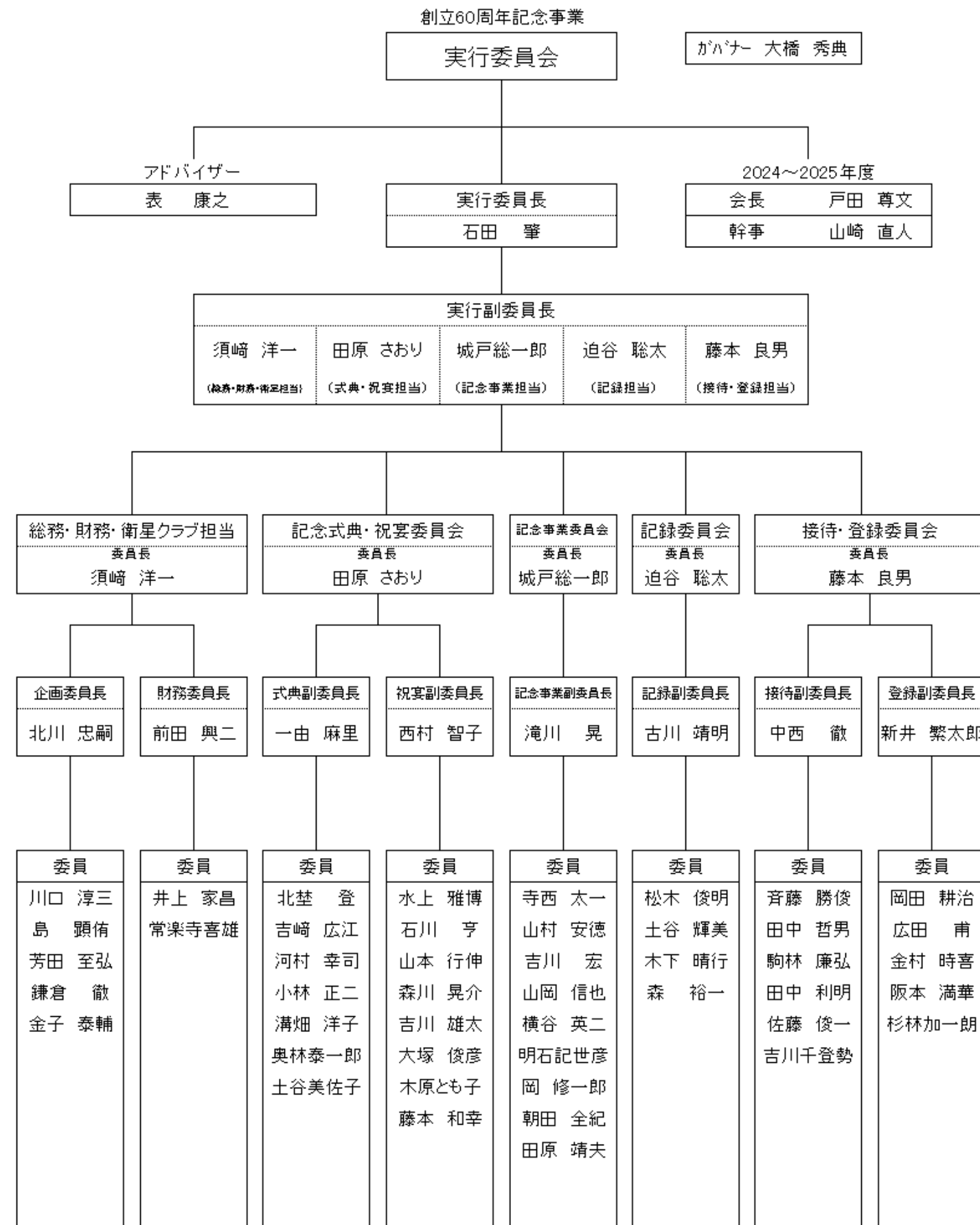




CLUB WEEKLY No.2835

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

会長 戸田 尊文

Rotary
District 2660未来に向けて原点回帰
～100年続くクラブ作り～

職業奉仕月間

例会日:2025年1月16日
(令和7年1月16日)

今日の例会

2025年1月16日

- 本日の卓話
「職業奉仕」
職業奉仕委員長 西村 智子 君

来週の例会

- 1月23日(木)
歌唱指導
岩島 佳子 先生

- 今日の歌「奉仕の理想」

- 1月30日(木)休会

- 例会後 第6回創立60周年実行委員会

会長の時間

戸田 会長

先週の新年初例会では、多数の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。おかげさまで、気持ち新たに下半期のスタートを切ることができました。これからしばらくは60周年記念式典の準備で忙しくなりますが、素晴らしい式典となるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、今月は「職業奉仕月間」です。五大奉仕の中でも、クラブ奉仕や社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕は対象が明確で成果が分かりやすい一方、職業奉仕はその意義や成果が少し分かりにくい部分もあります。当クラブで以前行っていた「よろず相談室」は、職業奉仕を実践する一例ですが、それが全てではありません。

本来、「職業奉仕」という言葉は、英語の“Vocational Service”を翻訳したもので、“Vocational”には単なる「職業」だけでなく、「天職」「使命」「適職」といった、人の役に立つという社会的使命感を含む意味があります。このため、職業奉仕は倫理的であり、ある種の宗教的ニュアンスも含まれており、他の奉仕とは少し異なるものです。

職業奉仕は時代と共に文化、宗教観によって多様に解釈されてきました。そのため、調べれば調べるほど解釈が広がり、一見曖昧に感じられる部分もあります。しかし、この曖昧さこそが、多様な視点を学ぶ良い機会とも言えます。例えば、日本で広まっている「ロータリーの樹」のイメージも、職業奉仕の一つの解釈です。

ロータリー創設当時のシカゴでは、「騙すより騙される方が悪い」「法さえ犯さなければ何をやっても良い」というような倫理観の欠如した職業環境がありました。その時代に生まれた職業奉仕は、職業モラルを改善するための明確な指針になったものと思われます。しかし、今の日本のロータリアンは、すでに高い倫理観を持って仕事に取り組んでいる方がほとんどだと思います。そのため、職業奉仕を改めて問われると少し戸惑うのも自然なことです。

職業奉仕とは何かを折に触れて考え、自らを律し、「4つのテスト」に基づいて、人に役立つ事を目的として日常の仕事に取り組み、自らを磨き続けることが職業奉仕の実践の一つと考えます。職業奉仕について会員間で話し合う機会がもっと増えれば、より深い理解につながるのではないのでしょうか。

幹事報告

山崎幹事

- 先日の初例会及び新年会にご参加の皆様、お疲れ様でございました。
- 《これからの予定》
- 【1】 本日例会後、第6回創立60周年実行委員会
- 【2】 1/25(土)地区ロータリー財団補助金セミナー
(一由会長エレクト、古川会長ノミニー、滝川次年度R財団委員長出席)
- 【3】 1/30(木)休会
- 《連絡事項》
- 【1】 本日例会後、創立60周年実行委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。
- 【2】 1月10日付にて、下期の会費及び諸経費の請求書をお送りしております。
1月末日までにお納めくださいますよう、よろしくお願いいたします。

新年初例会および新年会
2025年1月9日(木)於:オ・セイリュウ



2025年東大阪市消防出初式
2025年1月12日(日)



出席報告

1月9日

(1/9)の出席者数:25名(0)衛星クラブ4名
ゲスト1名:米山奨学生 イ・ジヒョンさん

1/9 出席率:59.52%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:49名(免除7名)

	12/19	12/26	1/2
HC出席	25(0)名	休会	休会
MU出席	3(0)名		
修正出席率	66.67%		